

# 大学の研究室とプロジェクトへの参加

—大プロジェクトに参加して何を得るか—

大学の役割

教育

研究

社会への還元

このような中で.....

学生から見ると

サイエンスがおもしろそう

フロンティアである

近い時間に(実験)結果が見える

教員から見ると

少ない予算(<5億円)短期(5年以内)で  
完結すること

主体的になれるテーマの提供

装置開発に対する評価

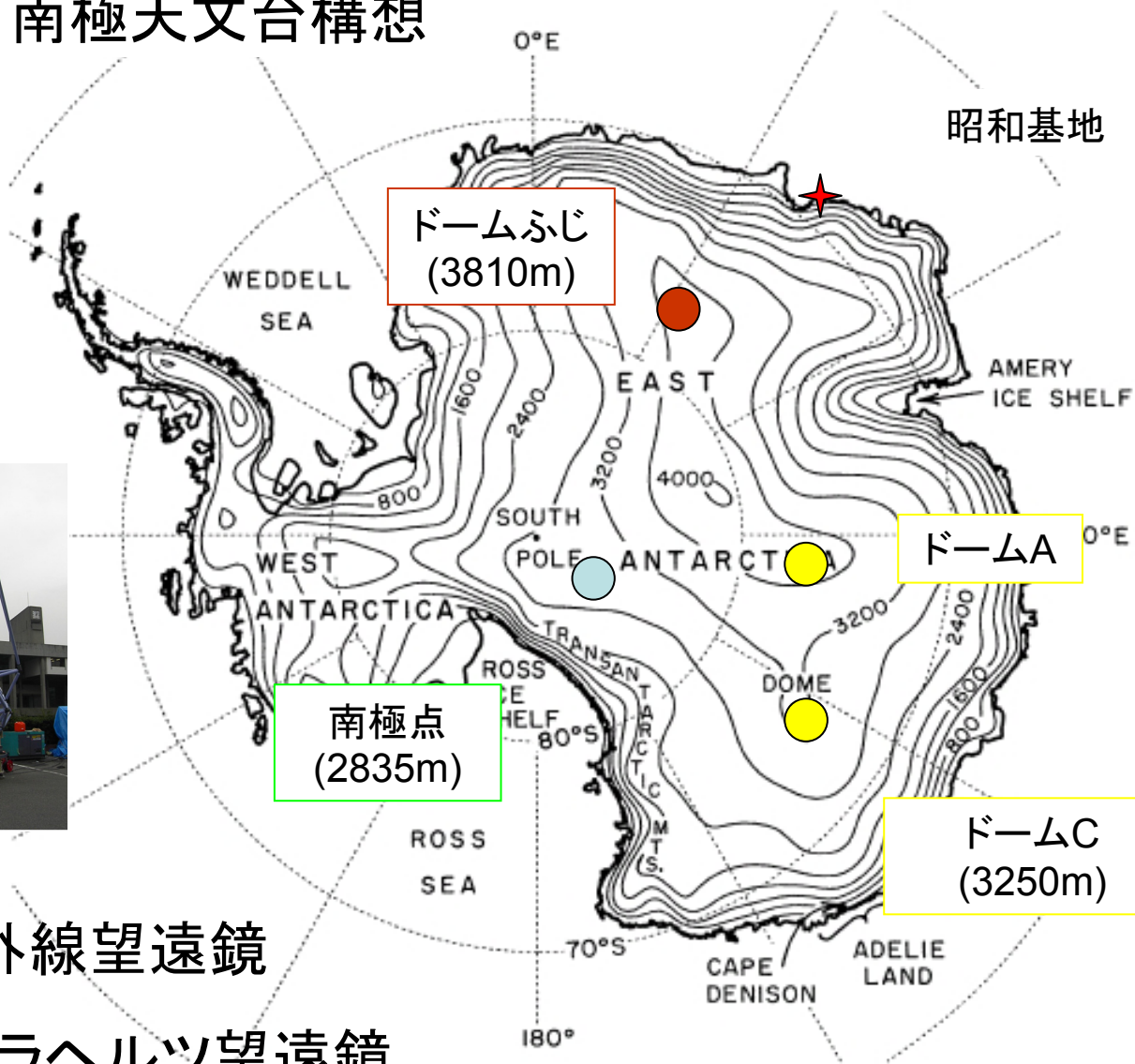
大プロジェクトに参加する場合にも、独自の中小プロジェクトは不可欠

大プロジェクトは日本が主体の将来計画を

外国に遅れているからといって外国に取り込まれたらその先はない

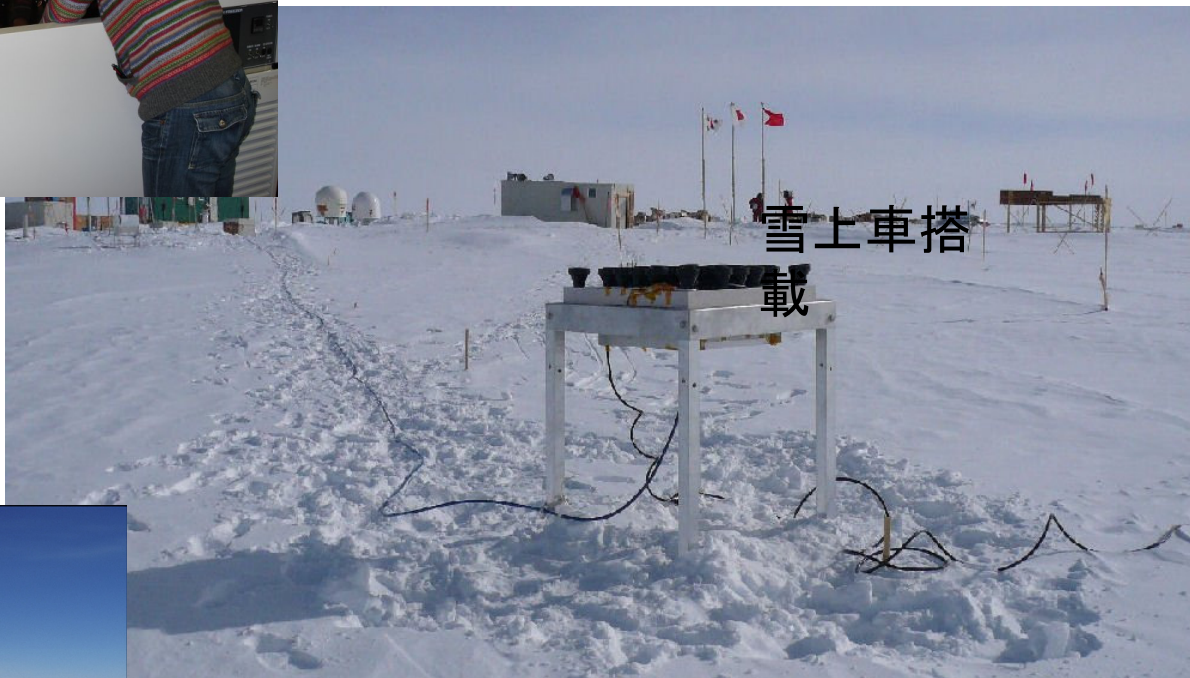
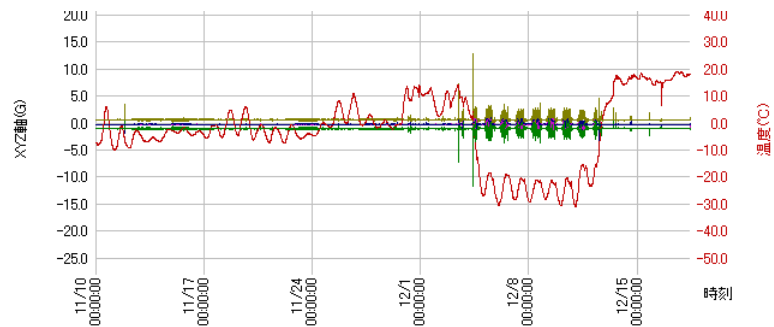
外国に遅れてしまったなら、ユニークな路線を

# 南極天文台構想

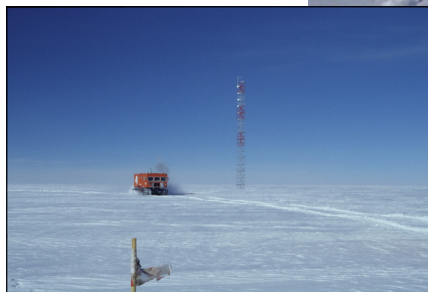


2m赤外線望遠鏡

10mテラヘルツ望遠鏡



雪上車搭載



ドームふじに設置したSODAR